

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

将来の環境変化に対応する革新的な食料生産技術の創出

3. 研究開発課題名

微生物パワーによる次世代閉鎖循環式陸上養殖システムの構築

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

堀 克敏（名古屋大学 大学院工学研究科 教授）

5. 評価結果

本研究開発課題の探索研究期間における目標として、淡水魚を対象に、「病害菌を防御する魚類表皮版プロバイオティクス」と「免疫賦活能を示す腸管プレバイオティクス」の有効性の実証を掲げ、抗生剤に依らずに健康な魚を飼育する、新たな養殖システムの実現という挑戦的な課題解決を目指した。特に表皮プロバイオティクスについては、養殖の対象である淡水魚に対して一定の効果を示唆する結果が得られたことが評価された。また、本研究開発課題の取組みは、抗生剤を使用しない魚病対策という水産業界のニーズを的確に捉え、独自性の高い研究開発を実施してきた。

以上のような、探索研究期間での活動および成果によって、当初の計画は概ね順調に進捗しており、将来、閉鎖型養殖における魚の疾病予防に活用可能な技術として展開されることが期待される。

以上